

町に移住 町の福祉に貢献

益城町は 子育てしやすい町

「益城町はとても住みやすく、移住してきて良かった」。こう話す西岡集さん・あかねさんは、平成29年に大阪府から転入し、益城町民歴6年目となる介護福祉士の夫婦です。大阪で出会い結婚した2人は、あかねさんの実家(人吉市)がある熊本県に移住を決意。熊本市やその周辺に住まいを探しました。結果、益城町に決めた理由を、「空港や高速道路など交通の利便性もありましたが、決め手となったのは子育てのしやすさです」と集さんが話します。続けてあかねさんが、「子どもの医療費が無料なのは助かりますし、乳幼児健診も優しくて手厚いです。おかげで、益城町に来た時4人家族だったのが、今では6人家族になりました」と笑顔を見せました。

令和2年には町に永住することを考え、家を建てました。「近所の人たちも優しくしてくれてありがたいです」とあかねさん。ちなみに集さんは大阪出身なので、「どこに行っても広い駐車場があるのに驚きました」というのが、最初に感じた町の印象だそうです。町民として町の福祉に貢献していきたい。2人は大阪在住時、高齢者施設で働いており、町に移住した後も同業種に就いていました。しかし、不規則な勤務や夜勤もあり、「もつと子どもと触れ合う時間を確保したい」という思いから、令和3年、町の起業創業事業費補助金を活用し、福祉用具事業所アィド(法人名(株)TSUDOI)として独立。従業員3人と共に、車いすなどの福祉用具のレンタル・販売、住環境の提案、介護保険を使った住宅改修などを行っています。「住環境などの相談を受け、その困っていることを解決し喜んでもらえた時、この仕事をやっていてよかったと思います」と声をそろえる2人。これからも町民として、町の福祉に貢献し続けます。

下段写真左から／アィドの従業員の皆さん／取り扱っている用具の一部。インターネット販売も行っています／事務所では書類に囲まれながら電話対応



インスタで情報発信中！
電話もお気軽にどうぞ。
(0285-14066)

